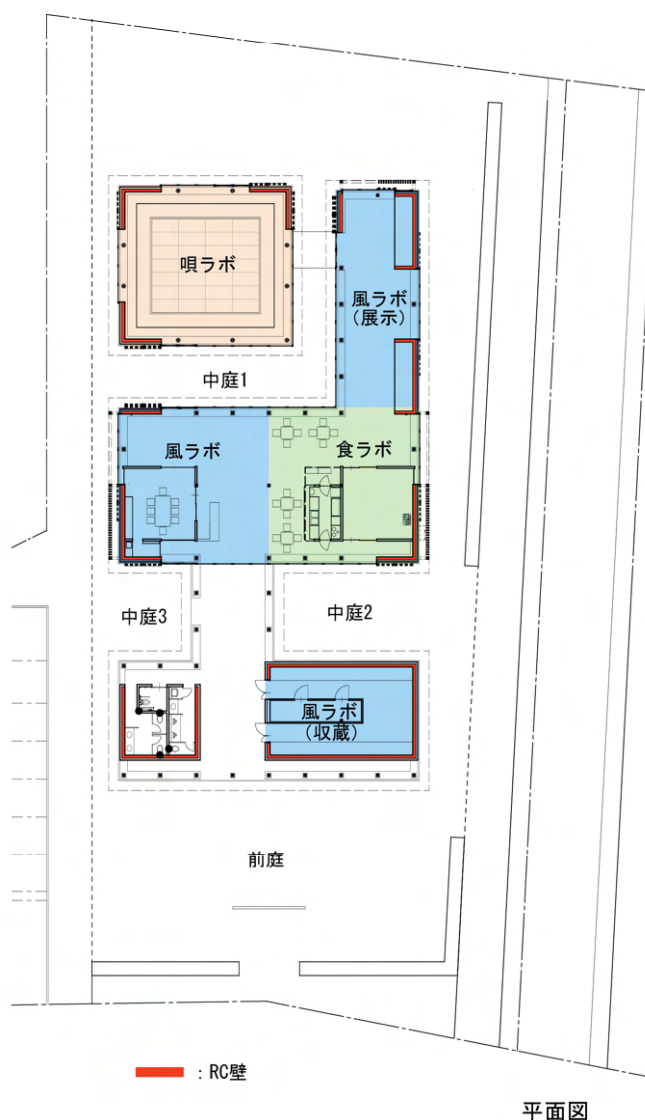


DiDi 与那国交流館



正面外観 亜熱帯の与那国にふさわしいエネルギー効率を考えた古民家風の建物



建築場所：沖縄県八重山郡与那国町
用途：博物館
延べ床面積：562.94 m²
階数：1
最高高さ：5.9 m
構造：壁式鉄筋コンクリート造
竣工年：2016 年

担当：基本・実施設計・監理

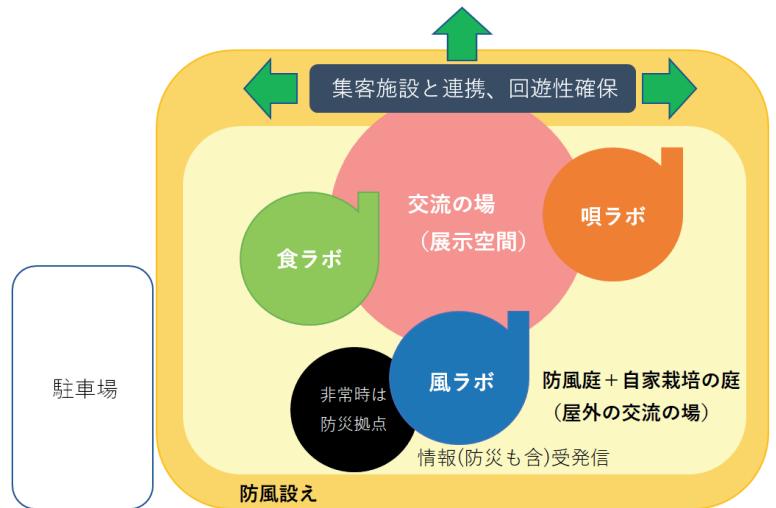
平面図

■日本最西端の文化と歴史を体感・交流する空間

DiDi 与那国交流館（与那国歴史文化交流資料館）は、日本最西端の与那国島に位置している。

与那国島は、独特の魅力的な風土・歴史・文化資源が島内に数多く残っている。

これらを一般的な博物館的な収蔵展示のみで採算がとれる集客を計ることは難しいため、「風ラボ」「唄ラボ」「食ラボ」の3つのラボ構成により、島民の日常使いと観光客の立ち寄りにより、町の活性化とともに、島内の人と島外の人との交流を図ることができる施設構成とした。



ダイアグラム

■古民家の特徴を組み込んだ、開放的で風に強い建築デザイン

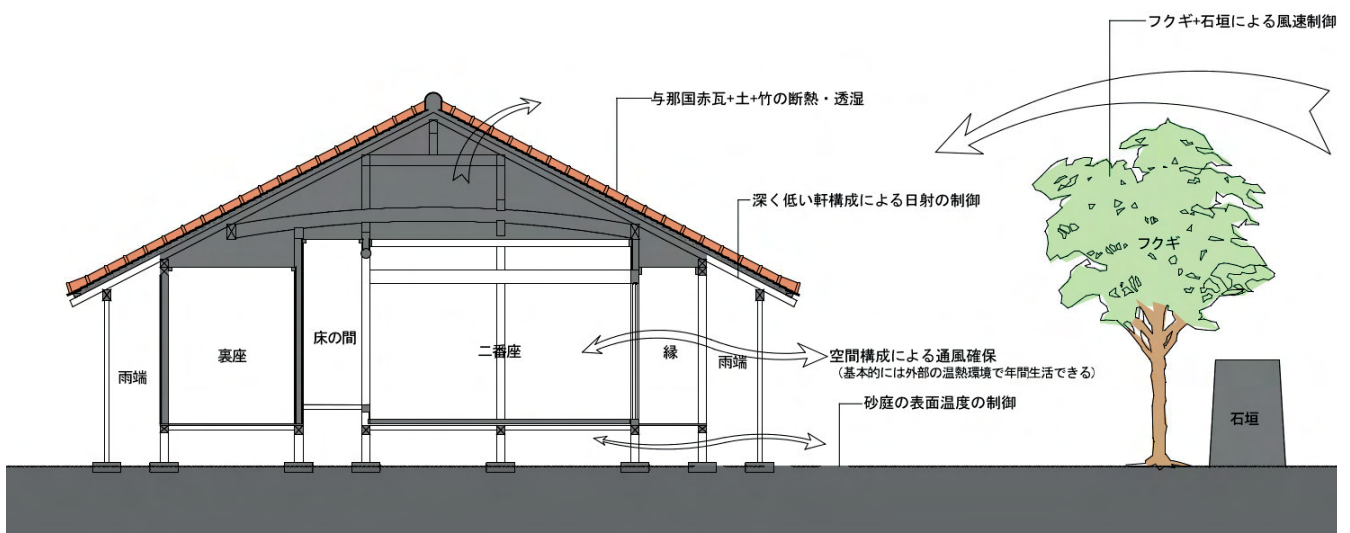
与那国島の伝統的民家は、島の環境に対して、暮らしの快適を得るため様々な知恵の結晶がみられる。

伝統的民家の屋根は優れた断熱性能があり、庭の砂は日射しが当たっても表面温度は低い。

間取りも開放的であり、住宅内は木陰のような環境となっている。

DiDi では、これらの知恵に現代の技術も導入し、進化した民家建築をめざした。

与那国島の町並みは、民家スケールの建物の集合体として魅力的な景観を構成している。当計画でも、平屋の分棟配置とすることを前提とした。この分棟配置は、快適な中庭空間を生み出すとともに、風速の低減にも寄与するものとなる。



伝統的民家の断面構成



正面外観



東側外観 分棟による建物構成



雨端（軒スペース）



エントランスより渡り廊下を望む 重層したレイヤー構成の先に唄ラボを望む



南側外観 雨端を持つ構成



夜間外観 海や夜空をイメージさせる演出照明



唄ラボ



食ラボ





風ラボ（インフォメーション）



風ラボ（展示）